EUROPEAN PATENT OFFICE



Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

63151341

PUBLICATION DATE

23-06-88

APPLICATION DATE

16-12-86

APPLICATION NUMBER

61300330

APPLICANT:

OBARA YASUNORI;

INVENTOR:

OBARA YAICHI;

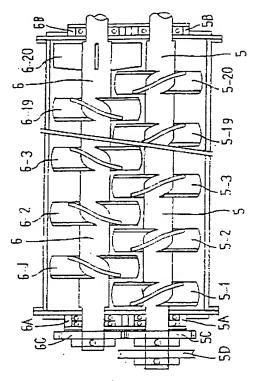
INT.CL.

B01F 7/08

TITLE

DUAL-SCREW MIXING FEED

APPARATUS



ABSTRACT :

PURPOSE: To efficiently and simultaneously perform the mixing and feed of a material, by providing rotary shafts wherein a large number of blades are alternately fixed to both shafts so as to be arranged in a multistage fashion and the leading ends of the blades are made to mutually approach the opposed shafts to cross each other.

CONSTITUTION: When a pulley 5D rotates inwardly, shafts 5, 6 are operated so as to rotate in opposed relationship. When a material is charged to said shafts 5, 6 from a charge port, said material is taken in the gap between blades 5–1, 5–2 by the blade 5–1. When the material is rotated to rise to a crossing part, said material is cut by a blade 6–1 to be taken in the gap between the blades 6–1, 6–2 and subsequently taken in the gap between blades 5–2, 5–3. As mentioned above, cutting is alternately repeated by the blades of each stage and the material alternately moves between dual cylinders to be forcibly fed by one stage and reaches a blade 6–20 to be discharged.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

每日本国特許庁(JP)

10 特許出願公開

母公開特許公報(A)

昭63 - 151341

@Int, CI, 1

識別記号

庁内整理番号

@公開 昭和63年(1988)6月23日

B 01 F 7/08

B-6639-4G

容査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

の発明の名称

双スクリユー配合総送装置

顧 昭61-300330 2014

額 昭61(1986)12月16日 金田

砂発明 考 願 小

岩手県和賀郡東和町安依9区15番地

旗 Z١

康 TO. 岩手県和賀郡東和町安依9区15番地

双スクリュー混合般遊牧區 1. 範別の名称 2. 特許請求の範囲.

設定された長さの、一端に投入口を、他方額 に採出口を有する、症部が二数双内間状で上部 が開口された数、或いは上部も緩御と同様の姿 閉避ケーシングと、それに内臓され、双円それ ぞれの中心の位置に並行し、何端を肺支えされ た2本の軸の各々に、投入口から排出口の方向 に、回転しながらスクリュー機能する似く、祖 対する角度(対向回転型)或いは同角度(周囲 転型)で、各々複数の羽根が、酢値交互に多般 配置して固定され、その羽根の先端が互に相手 の輸に接近して交叉する回転報とを備え、円弧 内交釣回転により交互切削を反復して、脱抑器 合しながら推送する機能を具備する構造である ことを特徴とする双スクリュー経合機造鉄燈。

3. 発明の詳細は説明

産業上の利用分野

本語明は含水の材料(現状、粒状、粉状)を

厳逸するに綴し、撹拌能合も同時に行う機能を もつ混合微送袋陸に関するものである。

從來技術

塊状、粒软炭いは粉状の材料(以下単に材料 と云う)を拠合し、搬送する工器は今日の空航 工程に必要とすることが多く、各種の混合設備 擬器褒獻が別々に使用されている。 しかし、含 水鉄路の材料を搬送するには、砲廠状態のもの を搬送する装設では困難を伴うことが多く、べ ルトコンペアとか、チェンコンペアの称に、分 断して微速する方法に限定されることが多い。 それは含水状態の材料は粘着性があるために、 倒えば迫常のスクリューコンペア穴の散送装置 では、圧縮されて質欲化し助まりが必ずる。そ の為に、その貧密化を避け、筋ならない関連手 炭が求められている。又混合する工程も同時に 行えれば、生産工程の合理化に役立つ。

説明が形決しようとする問題点

本苑明は生産工程合質化のため、材料の混合 と撤送を効率よく同時に行うべく考案されたも

-279--

BEST AVAILABLE ...

15周号63-151341(2)

のである.

問題点を辞決する為の手段及作用

含水して粘着性を有する材料を、例えばスクリューコンペアで激送する酸に起る筋まりは、 熟紙した散送圧力による。水発明によれば、 両 軸に交互に配配配定され、互に褶手に別級に交互に配配配定され、互に褶手に別 近するメクリニー機能羽根(以下単に別級となっ う)は、互の円型が交叉して回転する。した砂 って、回転、交換部での切削、絶量が外の 能ので交互に反視されるので、 数に材料を分断し 能合して 能合って、

爽施例

以下透消を移展して水発明による一変範例を 説明する。 尚本領は上部側口型である。

各図に於いて1はケーシングである、2は役人口で3のシャッターを鑑えている。4は搾出、口である。5と6は固転職で、それぞれが5Aと5B、6人と6Bの軸受によって保持されている。各種には交互に各複数の羽根が20ケ所

- 3 -

以上部述した根に、含水して枯燥性のある材料を確似に推進し、過常別々に行われている選合工程を同時工程で行うことの出来る務値を有する本類明の装置は、例えば常に含水材料を取扱う醗酵生産常に於ける作為工程の合理化に大きく貢献出来るものである。

4.図面の簡単な故院

第1回は収入ケリュー場合組送装置の構成を示す平面断面図、第2回はその正面断面図で、第8回はその側面外数図である。第4回は密閉型の場合のケーシング正面断面模式図である。

1 …ケーシング、2 …投入口、3 シャッター 4 …排出口、5 …可転換、6 …回転舶、5 A と5 B … 極受、6 A と 6 B … 軸受、5 ~ 1 から 5 ~ 2 0 … 羽根、6 ~ 1 から 6 ~ 2 0 … 羽根、 5 C … 産率、6 C … 歯車、5 D … 臨勘プリー。

特許出層人 小 度 雄 烁

づつ相対する角度(6~20は排出日に直角) で配便固定されている。更に5 軸には5 C、6 軸には6 Cの健康が組み合うように経音され、 5 軸には5 Dの駆動プリーまで鉄燈されている。

以上の様な神域による動作を説明する。5Dのプリーが内向倒転すると5 報と6 所は適動して対向回転する、そこに投入口から材料が入ると5~1 別位によって5~1 と5~2 の利松の間にとり込まれ、回転して交叉部に上がると6~1 羽役によって切削されて6~1 と6~2 羽役によって5~2 と5~3 羽役に回にとり込まれる。6~2 と5~3 羽役によって切削が交互に反復され、次に5~2 円役によって切削が交互に反復され、次に6~2 0 羽板に到過すると抑出口にかき出

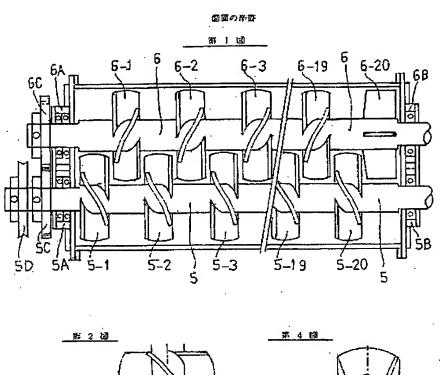
商上部関ロ鋭は大量の混合を出とした工機に 適合し、密関型は移送を出とした長尺の工程に 適合して同時に破跡も伴う。

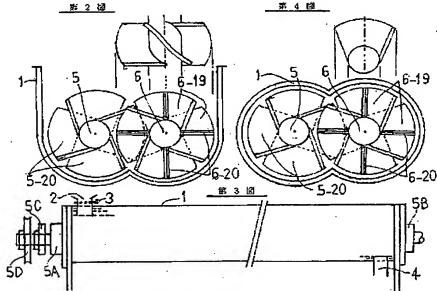
本発明の効果

- 4 -

- 5 -

有周昭63-151341(3)





-281-

BEST AVAILABLE COPY

類開唱63-151341(4)

手統補正 整 昭和62年 19 19日基出 48 81 6 QUE / 11

特的摩技官。 (特許庁審監官

υż 61-300550

1. 邪件の表示

特許期 页 号

2. 発明 (考案) の名称 ガスクリュー 孤合報送装置

遺匠に係る動品

指定機能はよび商品の区分

Ħį 23

3. 稲正をする幹

小件との関係

粉許出頭人

MICES 028-0U

名事務的な課題所は改改 # 図 日本市

4. 加正命令の日首 भा हा 白苍

5. 順形の対象。

国型力訂正一部投商等記入社委,不通1:>立訂正

5. 福刊の円音 別級:多通り

BEST AVAILABLE COPY